

市民活動をFMラジオで発信！！ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第30回：2017年10月22日（日）

○ゲスト：弘前おもちゃ病院

院長 小山内 忍 さん



小山内さん

○ 放送内容

今回の放送では 弘前おもちゃ病院 で活動されている 小山内 院長 をゲストにお招きしました。

この日も、おもちゃ病院の定期活動日だったそうで、活動が終わってから駆けつけて、その様子などお話ししてくれました。

□ 最初は家族で

おもちゃ病院を始めたきっかけは、「娘のおもちゃが壊れたときに、もっといい直し方がないとネットで探したら、全国に『おもちゃ病院』があることを知りました。その当時、仕事してたところのすぐ近くの駅に、おもちゃ病院協会があって、そこで養成講座をやっているというので、これは行ってみようってことで、そこからどんどんはまっていった。」と小山内さん。

今は20人くらいでやっているという弘前おもちゃ病院ですが、最初は小山内さんと家族だけだったそうで、協会とは別に、独自にいろんなところで協力してもらいながら養成講座を開いて人を増やしたり、イベントとかで見に来てくれる人が、自分もやりたいと入ってくれたりして、今の人数になったそうです。

□ 毎月2回の定期開院

毎月第2土曜日と第4日曜日の2回、定期的に開院しているという弘前おもちゃ病院。

日々持ち込まれるおもちゃには、単純に電池が無いだけというものから、電子回路の破損という直しようがないものまで、さまざまあるそうですが、持ち込まれたものの9割は直っているそうです。

診察（おもちゃの修理）は持ってきたお子さんの前でやるとのことです。「直せばまだ使えるよというのをわかってもらったり、ふたを開けて中に線やら何かわからない部品やらが入ってるワクワク感とか、そういうのを見て科学的な心も出てきてくれたらなというのもあります。」と小山内さん。

おもちゃ病院に参加してみたいという人は、特に資格も必要なく、随時募集しているそうですが、ただいま、ドクター（修理をする人）よりも、特にナース（受付とかをする人）の方が不足しているそうで、パーソナリティも「ナースなら自分も出来るかな？」と興味を持っていました。